



人権問題研修講師を派遣します！！

(公財) 滋賀県人権センターでは、企業研修会、学校研修会、各学校等(児童・生徒・学生向け)、住民学習会など様々な人権研修会に、職員を派遣しています。

(2019年度実績305回、2020年度実績137回)

■研修会申込の流れ



研修テーマ
部落差別、インターネット、
新型コロナウイルス、障がい者、
ハラスメント、公正採用、
性的マイノリティ、人権全般など
(リモート等にも対応します)

◆研修料(1回あたり)税込

2時間まで 15,000円
2時間以降 3,000円/H

※交通費は別途必要です

賛助会員になると..

2時間まで 10,000円
2時間以降 2,000円/H

※交通費は別途必要です

申込書の様式はHPに掲載しています。

問合せ先 **077-522-8253**(人権啓発担当)

賛助会員を募集しています

入会すると

- ①隔月刊誌「じんけん」をお送りします。
- ②人権啓発情報やイベント開催をメルマガ配信します。(要登録)
- ③当センター有料人権講座の受講料を減免します。
- ④人権問題研修料を減免します。
- ⑤特別賛助会員様には、希望により当センターHPへバナー広告を掲載します。(サイズ・時期等要相談)

年会費

協力賛助費 1口 3,000円
特別賛助費 1口 15,000円

※寄付金特別控除の対象となります

貸出します 利用料無料

人権に関するパネル、視聴覚教材の貸出を無料で行っています。企業研修や学習の機会に是非！貸出リストはHPに掲載中。

販売しています 100円～

毎年、オリジナル人権教材集を作成しています。職場、学校、家庭や地域などで活用いただき、好評を得ています。人権について考えるきっかけづくりに。

問合せ先 **077-522-8243**(総務企画担当)

(公財) 滋賀県人権センター

〒520-0801 大津市におの浜4-1-14

TEL 077-522-8243 / FAX 077-522-8289 / メールアドレス hikari@mx.bw.dream.jp

月～金 8:30～17:15 ホームページ <https://www.shigajinken.or.jp/>

2022年度 エンパワメントワークショップ出前講座 参加・体験型人権学習をしてみませんか？

多様な価値観のある社会の中で、多文化共生やインクルージョンの実現が求められています。そのためにも各地域・職場・団体・学校などでより充実した人権学習の場が必要です。

人権の問題を自分のこととして、より深く学んでいくためにワークショップなどを通じた参加・体験型の学びが今注目を集めています。2019年度から始まった「エンパワメントワークショップ出前講座」では、“エンパワメント”（自らの内なる力を引き出し、取り戻す）を目的としたワークショップを実施します。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、グループトーク等を実施しにくい状況にありながらも、隣の方と距離を取っての対話や、講師との対話など、感染症対策の工夫をしながら受講者は学びを深めていました。



講座の様子



今年度もNPO法人「えんばわめんと堺」と連携しながら、希望される地域、行政、学校、各種団体、同推協・人推協、NPO、企業等に出かけ、参加・体験型人権学習を出前させていただきます。是非、お申込みください。

講師：NPO法人えんばわめんと堺 



〔代表紹介〕 北野真由美（NPO法人えんばわめんと堺代表理事）

子どももおとなも自分を大切に、自分らしく安心して生きることができる地域社会づくりへの貢献をめざし、1997年に堺市で堺CAPプロジェクトとしてグループを発足。その後2002年NPO法人えんばわめんと堺／ESを設立。行政・地域・教育機関と連携し、研修やワークショップを開催。日常の中にある様々な問題と向き合い子どもの人権の啓発に取り組んでいる。現在は堺市教育委員会より委託を受け、CAPプログラム（子どもへの暴力防止活動）を堺市の全小学校にて実施中。その他人権に関するプログラム『HR（人権）プロジェクト』や様々な「性」と向き合って「生」を考える『SAY（性・生）の会』のワークショップを中高生や大人に向けて幅広く展開している。

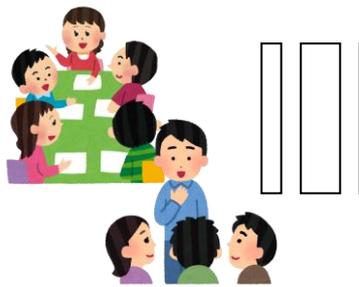
主催：公益財団法人滋賀県人権センター

〒520-0801 大津市におの浜四丁目 1-14

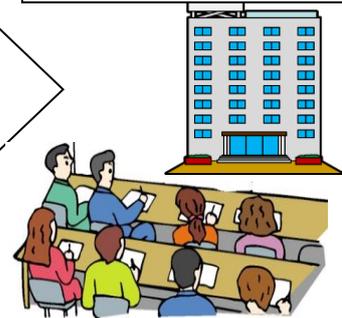
〔TEL〕 077-522-8253 〔FAX〕 077-522-8289

〔E-mail〕 hikari@mx.bw.dream.jp

参加・体験型人権学習をみなさんの地域・職場へ出前します



地域、行政、学校、各種団体、同推協・人推協、NPO、企業など



ワークショップって？

ワークショップ (workshop) とは、本来は「作業所」や「工房」を意味する言葉ですが、日本では「体験型講座」を指す用語として、問題解決やトレーニングの手法として使われています。

ワークショップはファシリテーター※と呼ばれる司会進行の人が、参加者が自発的に作業する環境を整え、参加者全員が体験・参画するものとして運営されるのが望ましいとされています。この自発的にする「作業」をワーク (work) といいます。

※ファシリテーター：参加者が自分の考えや感情を出せるようにサポートしたり、そのための時間配分をしたり、安心し、楽しい気分でワークショップができるようにする促進役。

ご要望に応じて研修の内容を考えます

たとえば・・・



ハラスメントと人権



子育てと人権



自尊感情を
どう高めるか



職場の人間関係
(アンガーマネジメント
アサーション
境界線・・・)



多様性 (ダイバーシティ)
尊重と人権



部落差別 (同和問題) と人権

など・・・

- ☆主催 公益財団法人 滋賀県人権センター
- ☆期間 5月以降の2時間を1講座にした 8講座（先着順）
（原則1団体1講座ですが、内容により相談に応じます。）
- ☆後援 滋賀県、滋賀県教育委員会
- ☆対象 地域、行政、学校、各種団体、人権・同和教育推進協議会、NPO、企業
などの研修
- ☆開催可能人数 15名以上100名程度まで
（滋賀県における新型コロナウイルス感染拡大防止対策に定める基準により、
上限人数を変動します）
- ☆会場 可能な限り、指定された会場まで伺います。
会場が確保できない場合は滋賀県人権センター（解放県民センター「光荘」）も利用可能です。
- ☆受講料 1回 15,000円
（但し、特別賛助費制度会員の場合 協力賛助会員 10,000円
特別賛助会員 無料）
※講師の旅費を別途請求します。（滋賀県人権センターから会場まで）
- ☆その他 滋賀県の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で開催いただきます
ようお願いいたします。
- ☆申し込み方法 「受講申込書」に必要事項を記入の上、公益財団法人滋賀県人権センターまでお
送りください。（FAXでもかまいません。）後日担当からご連絡いたします。
（※記入いただいた個人情報については目的外には使用いたしません。）

申込先 〒520-0801 大津市におの浜四丁目1-14
公益財団法人滋賀県人権センター 人権啓発担当
TEL：077-522-8253 FAX：077-522-8289
E-mail…hikari@mx.bw.dream.jp

※申し込みを受け付けた後、申込受理の文書を郵送します。
その後、受講料を下記の口座まで振り込んでください。

振り込み銀行口座

関西みらい銀行膳所支店 普通 0263803

（口座名義）公益財団法人滋賀県人権センター 理事長 末松史彦

会場案内図（滋賀県人権センターをご利用の場合）



○滋賀県人権センター（解放県民センター「光荘」）〔大津市におの浜四丁目1-14〕
※受付 2022年 月 日 受付番号〔 〕

2022年度 エンパワメントワークショップ出前講座 受講申込書

申込み団体 名等	(ふりがな)	
代表者名 (役職・氏名)	※決定通知文書を発送する際の宛名に使用します。	
連絡先	住所 (職場名)	(〒 ー)
	担当者名	
	電話番号	
	FAX 番号	
	メールアドレス	
特別賛助費 会員について	次のあてはまる方に○印をつけてください。 1. 協力賛助会員である。 2. 特別賛助会員である。 3. 会員でない。	
研修名		
日時	年 月 日 時 ~ 時	
参加者数		
会場	施設名	
	所在地	
備考		

※ 提供された個人情報に関しては、安全に保護すると共に、他の目的に利用したり外部に提供したりすることはありません。

※ 新型コロナウイルス感染の影響により延期、中止になることもあります。咳エチケットにご配慮ください。

申し込み先

〒520-0801 大津市におの浜四丁目1-14 (公財) 滋賀県人権センター
TEL 077-522-8253 FAX 077-522-8289

2022年度 インターネット人権マスター講座

今やインターネットは私たちの生活に欠かすことができないものになっています。自由な利用が進んでいる反面、誰もが知らないうちに人権侵害の被害者にも加害者にもなりうる事例も数多く起こっています。

本講座をとおして、インターネットで起こっていることについて学び、インターネットと人権について考え、安全・安心なインターネット利用のためのポイントを身につけてみませんか？

- インターネットにおける人権侵害は、どういうこと？
- インターネットで差別書き込みはどうすれば見つかる？
- インターネットで差別書き込みを見つけた時はどうしたらいいの？
- 差別書き込みをどうすれば消すことができるの？
- 興味や関心のあるSNSの落とし穴は？
- 子どもたちに伝えたい！インターネットの便利さと危険性は？



オープン講座

開催日時	講座タイトル	講師
6月16日(木) 13:30~15:00	全国部落調査復刻差別事件裁判からみえる 差別問題と課題(仮)	山本志都さん (墨東法律事務所)
10月20日(木) 13:30~15:30	情報社会の理解と情報モラルの指導(仮)	神月紀輔さん (京都ノートルダム女子大学教授)

モニタリング養成講座(先着10名 講師は当センター職員)

	開催日時	講座タイトル	会場
南会場	7月21日(木) 13:30~16:00	モニタリング養成講座①	解放県民センター「光荘」
	8月4日(木) 13:30~16:00	モニタリング養成講座②	
北会場	9月8日(木) 13:30~16:00	モニタリング養成講座①	米原学びあいステーション
	10月6日(木) 13:30~16:00	モニタリング養成講座②	

裏面の申込書に記載の上、(公財)滋賀県人権センターまでお送りください！(FAX可)
 ☆提供された個人情報に関しては、安全に保護すると共に、他の目的に利用するなど外部に提供することはありません。
※締切は各講座3日前まで

主催・問い合わせ先
 (公財)滋賀県人権センター
 〒520-0801
 大津市におの浜4-1-14
 TEL:077-522-8253
 FAX:077-522-8289
 E-mail:hikari@mx.bw.dream.jp

FAX送信先:077-522-8289

日付 月 日

2022年度インターネット人権マスター講座 受講申込書

お名前		
所属		
連絡先	住所	(〒 -)
	職場名	
	電話番号	(日中連絡がつく番号)
	FAX	
	メール	

希望する講座に○をつけてください

オープン講座	6月16日(木)	
	10月20日(木)	
モニタリング 養成講座	7月21日(木)	
	8月 4日(木)	
	9月 8日(木)	
	10月6日(木)	
		※モニタリング養成講座については、定員を10名とします。



- ※午前7時の時点で県内のいずれかに大雨に関する特別警報または暴風警報が発令されている場合は、中止します。講師・内容はやむを得ず、変更となることもありますのでご了承ください。
- ※新型コロナウイルス感染の影響により延期、中止となることもあります。
- ※咳エチケットにご配慮ください。
- ※当日参加を検討されている方は、開催の有無を当センターにご確認ください。
(事前に申し込まれた方には、こちらから連絡いたします)
- ※滋賀県の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で開催します。
- ※講座開催の趣旨に沿わないと判断される方にはご参加をお断りさせていただく場合もあります。

【参加費無料】

主催・問い合わせ：（公財）滋賀県人権センター 人権啓発担当（大津市におの浜4-1-4）

TEL：077-522-8253/FAX：077-522-8289 /URL:https://www.shigajinken.or.jp

クローズアップ人権講座

～趣旨～

人権に関する課題は多岐の分野にわたります。人権課題を解決していくためには、人権が尊重され、差別や偏見のない地域社会づくりを進めていくことが必要になります。まずは「知る」こと、「気づく」ことから始めてみませんか。私たちの気づきを増やすことで差別のない社会の実現に向けての一步を歩み出しましょう。

日時	テーマ	講師	会場
第1回 5/27(金) 13:30～ 15:00	部落差別問題① ～水平社創立に至るまでの 背景と水平社宣言の意義～	朝治 武さん (大阪人権博物館館長)	解放県民センター 「光荘」
第2回 6/22(水) 13:30～ 15:00	部落差別問題② ～水平社創立100年 現在の課題～		
第3回 7/30(土) 午前	夏休み特別企画	ワークショップ ミニチュア太鼓づくり	解放県民センター 「光荘」
第4回 7/30(土) 午後		外国の文化・伝統・ 踊りを知ろう	
第5回 8/19(金) 13:30～ 15:00	子どもと人権 ～コロナ禍で問題を抱える 子どもの支援～	大谷眞砂子さん (じんけん学習塾)	G-NETしが (滋賀県立男女共同 参画センター)
第6回 9/22(木) 13:00～ 15:00	部落差別問題③ 水平社博物館見学 御所市フィールドワーク	人権NPO 「ほっとねっと」 ガイドスタッフ	水平社博物館 (裏面参照)
第7回 10/27(木) 13:30～ 15:30	LGBTQと労働問題 ～履歴書からなぜ 性別欄がなくなったのか～	佐藤 学さん (NPO法人POSSE)	解放県民センター 「光荘」



みんなで楽しく
学びましょう!



※午前7時の時点で県内のいずれかに大雨に関する特別警報または暴風警報が発令されている場合は中止します。

※講師・内容はやむを得ず、変更となることもありますのでご了承ください。

※新型コロナウイルス感染の影響により延期、中止となることもあります。なお、当日参加の方は、参加される前に必ず、開催の有無を当センターのHPでご確認ください。中止・延期の場合は、事前に申し込まれた方はこちらから連絡します。咳エチケットにご配慮ください。

詳細・申し込みは
裏面へ

お名前	ふりがな ()	送付日
所属		
連絡先	住所	〒
	職場	(職場の場合)
	電話番号	9/22フィールドワークに参加する方は携帯電話番号(必須)
	FAX	

希望日に○をつけてください

日時	テーマ	内容		
第1回 5月27日	部落差別問題① ～水平社創立に至るまでの背景と水平社宣言の意義～	解放令が出てからも差別意識は変わらず厳しい差別が続き、被差別部落出身者が自ら声をあげ社会を変えようと全国水平社を創立しました。水平社を立ち上げるまでの経緯や社会背景、水平社宣言に込められた思いを学びます。		
会場	解放県民センター「光荘」			
第2回 6月22日	部落差別問題② ～水平社運動 糾弾の意義と創立100年後の現在の課題～	宣言がめざした「あらゆる差別を許さず、誰もが一人の人間として尊重される社会」。創立後100年経った今、目指した社会になっているでしょうか。現代社会にある課題とこれから私たちに求められていることを水平社を切り口に学びます。		
会場	解放県民センター「光荘」			
夏休み特別企画	第3回 7月30日	ワークショップ ミニチュア太鼓づくり	10組	後日受け付けます 申し込みは
	会場	解放県民センター「光荘」		
第4回 7月30日	外国の文化・伝統・踊りを知ろう	アフリカってどんな国? どんな生活をしているのかな? アフリカの伝統的技法で作られるカラフルな布を用いてしおりを作り多文化共生の理解を深めましょう。(所要時間約60分:作業30分、クイズや踊りなど30分)	10組	
会場	解放県民センター「光荘」			
第5回 8月19日	子どもと人権 ～コロナ禍で問題を抱える子どもの支援～	コロナ禍で虐待が顕著になったり、コロナ感染症による学校でのいじめやコロナに関連して不登校になったり子どもたちは今、様々な問題を抱えています。周りの大人や学校現場で、どのような支援が求められるのかを学びます。		
会場	滋賀県立男女共同参画センター (G-NETしが)			
第6回 9月22日	部落差別問題③ 水平社発祥の地フィールドワーク	水平社博物館は2022年3月にリニューアルオープンしました。水平社博物館見学と水平社発祥の地である奈良県御所市をフィールドワークします。現地へ赴くことで新たな学びを見つけましょう。	17名 先着順	
会場	水平社博物館			
第7回 10月27日	LGBTQと労働問題 ～履歴書からなぜ性別欄がなくなったのか～	2020年7月に履歴書から性別欄が廃止されました。性別欄によって、不利益を被っていたのはトランスジェンダーの人たちです。性別欄を廃止する取組と性的マイノリティの方々の労働問題について当事者の声とともに学びます。		
会場	解放県民センター「光荘」			



第5・6講座以外 解放県民センター「光荘」
住所: 大津市におの浜4-1-14
☎ 077-522-8243



第5講座 滋賀県立男女共同参画センター
住所: 近江八幡市鷹飼町80-4
☎ 0748-37-3751

第6講座
【水平社博物館】
奈良県御所市柏原235-2
TEL:0745-62-5588
集合: 12時15分
近鉄「榎原神宮前」
中央出口
榎原神宮前から
タクシーで移動します。